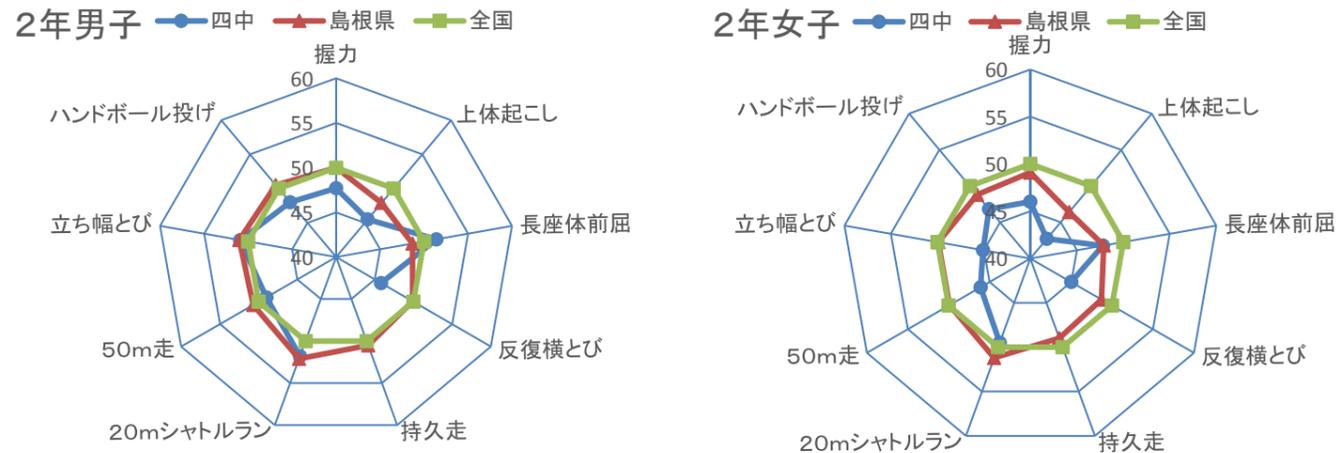


(1)生徒の体力の現状

- 男子の長座体前屈とシャトルランが全国平均を上回っていた。
- 男子では握力、上体起こし、反復横跳び、ハンドボール投げが全国平均と比べて顕著に劣っている。
- 女子ではすべての項目が全国平均と比べて劣っているが、中でも上体起こし、反復横とび、立ち幅跳びが顕著に劣っている。
- 女子の体力不足が顕著である。
- この結果には出てきていないが、体格面では男子の身長・体重が全国平均と比べて小さく、女子の身長も全国平均と比べて小さかった。

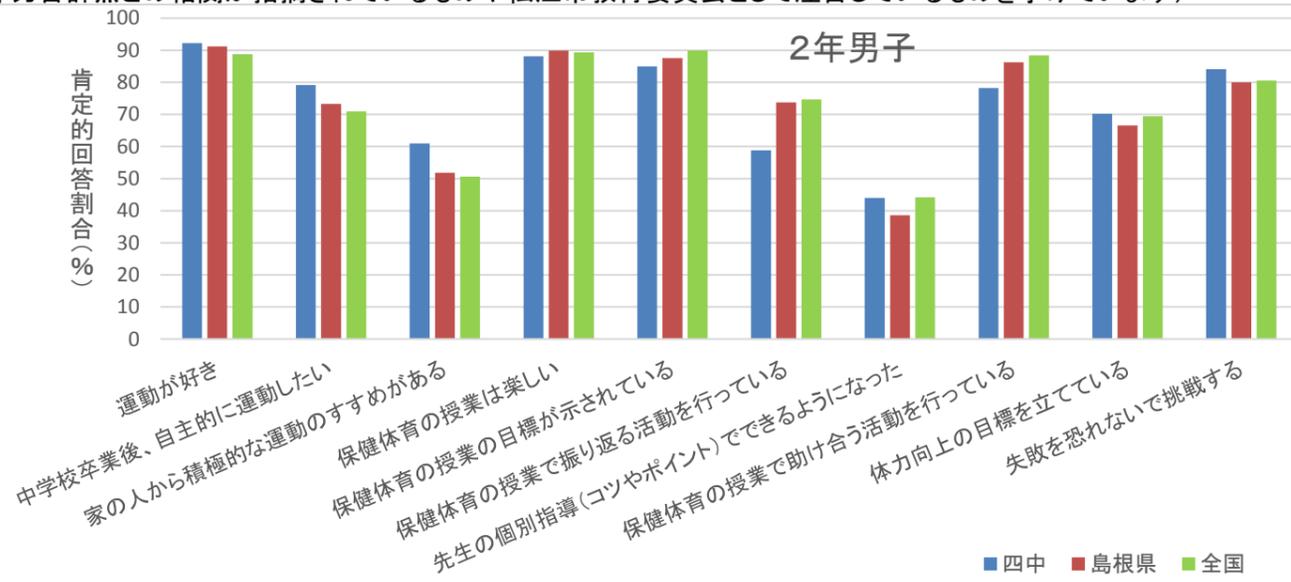
(4)2年生 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



(2)30年度の具体目標の達成状況と課題

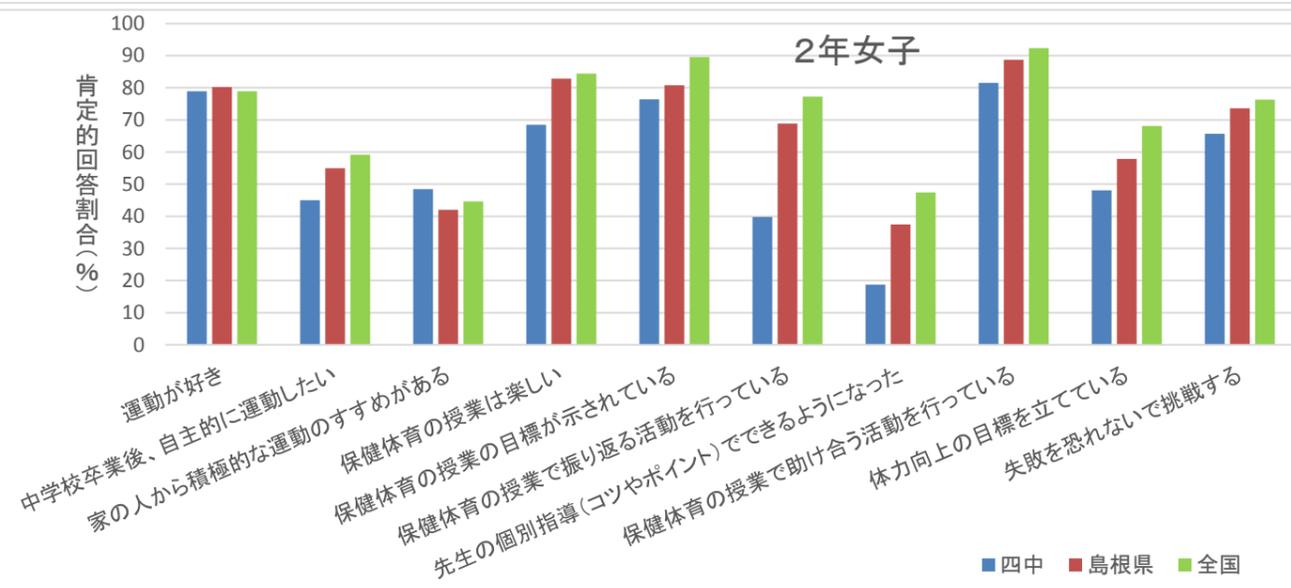
- 月1回のシャトルランの実施、成績上位10人のランキングの掲示(男女別・学年別)を行った。また成績優秀者には学期末に体育委員会が表彰を行うなどした。体力不足が課題の本校生徒ではあるが、シャトルランは比較的健闘している。
- 本校生徒は男女ともに体格面で劣っており、そのことが握力、ハンドボール投げ、立ち幅跳び、50m走に影響していると考えられる。
- 本校2年生の運動部活動の加入率は、男子81%(全国は77%)、女子46%(全国は58%)である。特に女子の運動部活動加入率が低いことが体力不足に大きく関わっていると考えられる。体育実技の授業の中で自分の体力に関心を持たせたり、体力作りに積極的に取り組む姿勢を育てたりすることが必要だと考える。

(5)全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査 2年生意識調査の結果 (体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(3)31年度の取組【対策】

- ①学校における取組
 - ・月1回のシャトルラン、ランキング上位者の掲示と表彰を継続して行う。
 - ・体育実技の準備運動に合わせてサーキットトレーニングを行う。内容については検討が必要。
 - ・授業の中で本時の目標を明示し、振り返りを行う。
 - ・個別指導を行い、コツを示すとともに成功体験を味わうことができるように支援する。
 - ・授業の中でグループ活動を行い、積極的に授業に取り組むことができるよう支援する。
 - ・体力テスト実施の際には、生徒が力を存分に発揮することができるよう、コツを示したり学年別・男女別の全国平均を示したりするなどし、意欲を高める工夫も必要だと考える。
 - ・体力の現状を職員に周知し、部活動でも体力づくりを意識した活動を行う。
- ②地域や家庭との連携による取組
 - ・本校の体力の現状や課題を学校だよりやホームページ等を使って情報発信する。
 - ・校区内の小学校と情報交換を行い、共通の課題をもって取り組む。
- ③体力向上をめざした生活習慣の確立、食育推進の取組
 - ・本校には朝食を欠食する生徒が存在している。本校独自の「手作り弁当の日」等を通して食に対する意識を高めたい。
 - ・給食委員会が週1度給食の残量調査を行っている。この活動を継続していく。



調査実施者数(人) 1年(男子76・女子95) 2年(男子99・女子106) 3年(男子84・女子99)